

沖縄基地視察ツアーにご参加を!

沖縄の心はひとつ! 基地はいらない!

= たたかいに学び、運動の輪を拡げよう! =

鳩山民主党政権がアメリカに屈服し、普天間基地国外撤去の方針を撤回、辺野古にもどすと表明し辞職。振り出しに戻った沖縄基地問題。8月には日米両政府による具体的な工事準備、9月には地元名護市議会議員選挙、11月には県知事選挙と正念場のたたかひが続きます。このたたかひは沖縄基地問題にとどまるものでなく日米安保条約見直しに迫るものであり憲法9条を真に活かす国民的性格をもった運動です。

沖縄の基地を県内に「たらい回し」しようとする政治家やマスコミ報道に振り回されないためには、①沖縄県民のくらしと基地に対する考えを正しくつかむこと。②沖縄の情勢・状況を事実に基づき把握すること。③現地、辺野古で座り続けてたたかっている人々と交流連帯すること。④沖縄基地の実態を調査すること。

運動の分かれ目は、沖縄県民のひとりひとりの考え・意思にかかっています。同時にそれを支え、みずからの問題として運動を広げる国民のたたかひにかかっています。

県大会で打ち出された沖縄基地視察について事務局で検討し、今回の基地視察の目的をつぎのように考え企画しました。多くのみなさんのご参加をお願いします。

その1: 沖縄県民のくらしと基地にたいする考え方を理解するために、普天間基地のある宜野湾市を表敬訪問し、**伊波洋一市長**との懇談を設定しました。

その2: 沖縄基地問題の情勢・状況を正しく把握するために、**琉球新報社の前泊博盛論説委員**の講演を聴きます。(沖縄には朝日、読売、毎日の三大新聞は本土から送られてくるため、読者数が少なく、琉球新報社と沖縄タイムズが二大新聞社となっています)

その3: 沖縄米軍基地の実態を視察し、沖縄平和委員会の方から説明を受ける。

その4: 辺野古の現地で座り込み続けている人たちと交流を深める。

視察の概要

日時: 8月24日(火) 羽田発 10:15~
復路 27日(金) 那覇発 15:50 (3泊4日)

- 第1日目: 伊波洋一宜野湾市長と懇談。その後、琉球新報の記者の講演を1時間半学びます。
 - 第2日目: 普天間・嘉手納・キャンプハンセン等視察。辺野古の方々との交流。
 - 第3日目: 伊江島(阿波根昌鴻さんのたたかひを学ぶ。団結道場・タッチウなど)
 - 第4日目: 万座毛・琉球村など観光。
- なお、日程などの多少の変更についてはご了承ください。

- 費用: 7万~8万 (航空運賃・4日間のバス使用・謝礼・辺野古カンパ等含む)
- 事前学習: 8月10日前後に県平和委員会作成のパンフで参加者全員に学習をします。
- 締め切り: 第1次締め切りを24日(第1回常任理事会の開催日)とします。

最終締め切りを8月5日とします。詳細なプログラムは旅行社と打ち合わせ作り、チラシでお知らせします。

新体制で激動の年を切り拓く!

2010年度役員

<代表理事>

飯村 一雄 植田 金雄 伊達 郷右衛門
中山 弘子 水野 秋一郎

<事務局長>

木村 泉 (鹿行)

<常任理事>

池田 征一 (笠西) 稲田 明浩 (石岡)
小沼 一彦 (潮来市役所) 風間 道夫 (鹿行)
加藤 岑生 (東海) 金子 勉 (さかい)

叶谷 正 (ゆうき) 神長 壮行 (水戸みなみ)
川井 光 (内原・友部) 川又 俊水 (なか)
小久保 壮一 (鹿行) 近藤 輝男 (土浦)
高見沢 澄 (水戸西) 中山 熙之 (阿見)
人見 忠男 (ひたちなか) 前田 清 (下館)
柳岡 修二 (やさと) 山口 由夫 (石岡)

<理事>

北 茨 城 : 柏木 裕美・藤田 稜威雄
美 和 ・ 緒 川 : 7月の総会で決まり次第、追認 (2名)
日 立 : 岩間 雅美 太 田 : 福田 亘男
大 宮 : 小野瀬 實 東 海 : 川崎 勝男
ひたちなか : 大和田 喜市 那 珂 : 渡辺 輝夫
水 戸 西 : 小川 弘二・小瀬 信司・松原 日出夫
水 戸 南 : 岡野 勝 花だいこん : 菊池 浅子
はばたき : 江尻 大祐
内原・友部 : 稲田 敏之・小林 和栄
笠 西 : 多崎 貞夫
鹿 行 : 内田 泰山・関口 正司
潮来市役所 : 小沼 正範 池 貝 : 小川 隆
百 里 : 栗又 衛 土 浦 : 斉藤 房雄
阿 見 : 宗田 和子 つ く ば : 又川 速雄
守 谷 : 斉藤 哲・丸町 芳夫
つくばみらい : 芦田 洋治・小川 三也
莖 崎 : 軽部 英司 龍ヶ崎 : 宮沢 利春
美 浦 : 長山 静雄 江 戸 崎 : 山口 清吉
ふじしろ : 阿部 美佐子・渡辺 昭七
取 手 : 長谷山 世美子・花沢 楓
下 館 : 小林 清 ゆ う き : 前田 誠治
さ か い : 染谷 卓勇 古 河 : 井上 忍
こ か : 青木 不二子

<会計監査>

椎名 定 (東海) 羽鳥 茂 (水戸西)

平和新聞

2010年7月5日 (月曜日)
1929号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 567

2010.7/5
発行: 茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

新体制に期待します！

土浦平和の会 井上仁志

昨年、茨城県平和委員会の知恵袋松原日出男さんが代表理事を引退されて、今年に代わり、会の生き字引き伊達さんが代表理事に選出されました。平和委員会が再建されて19年間にわたって、お二人が残された業績は多大なものであったことを感謝したいと思います。

今、世界は大きな変化の時期にあります。日本の平和運動も世界の変化に連動して、大きく飛躍しなければならない時期にきていると思います。

中南米がアメリカの支配から独立している。アメリカがアフガンとイラクで苦戦を続けている一方で、中国が目覚ましい発展を遂げて第3極として台頭してきている。



[発言する井上さん]

北朝鮮やイランの核開発への動きを止める見通しさえも見つからない状況の中で世界はアメリカ主導から多極化に向かっています。この時期の日本政府の対米追従の姿勢は世界の動きに遅れるだけでなく流れに逆らう事態になっています。

今年のNPT再検討会議が世界中の耳目を集め、日本のNGOの平和運動が注目を集めました。唯一の被爆国として核兵器廃絶の先頭に立つ責任がある日本政府はいまだに「核抑止論」から抜けだしていません。

沖縄の問題でも、日本政府は「米海兵隊は抑止力」という口実で対米奉仕の姿勢です。平和勢力は九条の会、婦人団体など多面的な発展をしてきています。力を合わせれば大きな力になります。ここが大事なところ。平和委員会だけでは大きな運動を作り上げることができません。どの町にもたくさんの民主団体が根付いてきています。市民団体の共闘に目を向けなければ運動の発展はありません。新体制の中でこのことをしっかりと検討して欲しいと期待しています。

地域で平和の市民権を！

常陸太田平和の会 鈴木正彦

「2009年度活動のまとめ」で特に私が感じたのは、伊達事務局長も報告でふれましたが、毎年恒例となった「憲法フェスティバル」の参加者が年々増え、1,000名をオーバー。行事内容も多彩で充実し、茨城県の憲法集会では確固たる市民権を確立していることについてです。

これは、『県平和委員会』が年間運動の中で、「これとこれだけでは、と重点を決め取り組む」そして全県の『会』に働きかけ参加を呼びかける活動をしてきたことの成果だと思っています。

県が私たち『会』に求めている年間重点行事は、春の百里「初午祭」・「憲法フェスティバル」、夏の「戦争と平和を考える特別旬間」、秋の「一斉宣伝行動」・「米軍機くるな 茨城実行委員会」とあります。

私たち『会』も県に学んで「毎年これだけは組織をあげて必ず」と皆で決め、地域色を大切に取組んで行きたいと思えます。そして、地域で市民権を確立したい。



[昼食時のひととき]

全国をリードする茨城の活動！

守谷平和の会 斉藤 哲

伊達さんが活動報告で「この大会が最後の報告になる」と言われた時に、私が思ったのは、随分と長い間県平和委員会の顔として、事務局長をされて来たことに敬意を表し、心の中で拍手を贈りました。

伊達さんが言われるように、1981年に県平和委員会を発足させたものの、労組懇の事務局長となったために平和委員会が機能できなく、1991年に再建という形で、当時の会員100人ほどで発足したとの事です。

伊達さんは報告の中で、自分でいうのも何ですがと言いつつ、①仲間づくり、②憲法フェスティバル、③かわら版の発行、④意見広告、などなど全国の平和委員会・平和の会がある中で運動が発展していることを報告しました。

そうです！仲間づくりでは、1年7ヶ月続いている毎月5名の加入者、フェスティバルは地域に広がり、かわら版の充実、意見広告の定着など、どれをとっても全国をリードしているものばかりです。

今回の大会の参加者数は、今までにない数だと聞きました。やはり情勢的なこともあったでしょうが、県平和委員会の発展が大会を盛り上げたのではないかと考えています。

平和は誰も望むものであり、平和であることへの運動は、限りなく続けていかななくてはなりません。大会に参加された皆さん、また会員の一人ひとりの行動が、平和への大きな力になっているんだということを、報告を聞く中で自分なりの確認が出来ました。

2010年度第1回常任理事会通知

県大会成功のためのご尽力有難うございました。新たな気持ちで今年1年頑張っていきたいと思えます。

さて、第1回常任理事会を下記のとおり開催しますのでご出席のほどお願い申し上げます。

記

と き： 7月24日（土）午後1時半～5時

と ころ： グリーンハレス石岡（旧石岡営農研修センター）

石岡市茨城3-16-20 TEL0299-23-2045

議 題： ①「戦争と平和を考える特別旬間」について

②1年間の計画 ③沖縄ツアー ④各種委員会の設置

と常任理事の役割分担

百里平和公園の草刈にご協力を！

百里基地反対連絡協議会（百里基地反対同盟・百里訴訟弁護団・平和委員会・茨城農民連・平和擁護県民会議・共産党茨城県委員会・社民党県連合で構成）では下記のとおり百里平和公園の草刈を実施いたします。各平和委員会（平和の会）からのご協力をお願いします。

記

と き： 7月19日（月・祝日）午前9時～12時

と ころ： 百里平和公園

※草刈機をもっている方はご持参いただければ好都合です。